

幸手市、骨粗鬆症検診を拡大実施（平成 30 年度から）！

- 骨粗鬆症検診が昨年の 4 倍の方が受診可能
- さらに、60 歳以上の女性、70 歳以上の男性はどの年齢でも受診可能

幸手市では介護が必要になる原因の第 1 位が骨粗鬆症による転倒、骨折（全国平均では 4 位のところ）です。当地域は高齢化率が非常に高く骨粗鬆症による骨折発生の予防が喫緊の課題です。このことを当医師会から幸手市に医学的見地に基づき説明した結果、年間 1200 人の方が幸手市の骨粗鬆症検診が受けられるようになりました。また骨粗鬆症検診は全国的には節目検診と同時に行われている自治体が多く、70 歳までの方しか受診のチャンスがありませんでした。骨粗鬆症による大腿骨近位部や脊椎圧迫骨折は統計から 70 歳以降の年代に多発していますので 70 歳以降の方ほどすぐに骨粗鬆症検診を行なう必要があることを当医師会から幸手市に強く要望した結果、70 歳以降の方々にも骨粗鬆症検診の道が開けたことは全国的にも画期的です。この機会を見逃さず是非骨粗鬆症検診を受け早期発見早期治療に心がけ介護の世話にならずにいつまでも健康ですごせるよういたしましょう。詳しくは幸手市健康増進課へおたずねください。

平成30年度 幸手市骨粗鬆症検診について

市民の健康寿命延伸に向けた取り組みとして、平成30年度から骨粗鬆症予防対策を実施いたします。若いうちからの骨量減少予防の重要性の普及啓発とともに、早期に骨量減少者を発見し、必要に応じて生活習慣の改善や治療につなげ、骨折予防及び重症化予防を進めます。

また、転倒・骨折予防対策としてのロコモティブシンドローム予防の普及啓発に努めてまいります。

<具体的内容>

(1) 骨粗鬆症検診の拡大実施

平成29、30年度との比較

年度	平成29年度	平成30年度
対象者	女性限定 節目の年齢 (40.45.50.60.65.70歳)	いずれかに該当 ① 40.45.50.55歳の女性 ② 60歳以上の女性 ③ 70歳以上の男性
受診予定者数	300人	1,200人
検診日数	5日間 複合がん検診(胃、肺、大腸、前立腺、 歯周疾患)と同時実施	20日間 レディース検診(乳、子宮がん検診) 特定健診、複合がん検診と同時実施
受診者数	155人 受診者の6割が60歳以上 精検者・・・受診者の33%が該当 (94%が60歳以上)	6/19～H31年2/28まで実施 予約者数 94人(6/4現在) 60歳以上が中心

※骨密度80%未満で要精密検査の判定(紹介状の発行)となるため医療受診者数が増える見込みです。